

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	公民館管理				事業番号	007-044	
担当部署名	市民人権局	局	市民生活部	部	生涯学習課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 〜Children's future〜	施策	(4)安心して学べる教育環境の充実
			有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—		目標値
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
			有	取組	生涯を通じた学びの支援		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—		目標値

2	関連計画	堺市生涯学習基本方針（計画期間：令和4年度～令和8年度）		
3	事業開始年度	昭和 35 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 8 年度
4	実施根拠	社会教育法、堺市立公民館の設置及び管理に関する条例、堺市立公民館管理運営規則		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、出先機関（公民館6館）					
6	事業の対象	全市民				対象数	単位
						804,163	人
7	事業の目的	社会教育法第20条に基づき、公民館の管理運営を通じて、生涯学習の振興、住民相互の交流、地域の活性化を図る。					
8	事業内容	公民館6館設置（錦西公民館、八田荘公民館、東百舌鳥公民館、福泉公民館、金岡公民館、新金岡公民館） ・自主的な生涯学習グループの継続的な活動を支援するため、学習の場を提供。 ・公民館において定期的・継続的活動をする団体を文化教室として登録し、自主的な運営を支援。（令和7年度92団体） ・文化教室を中心として公民館まつりを開催し、活動成果の発表と地域住民との交流の機会を促進。 ◇開館時間 午前9時～午後9時（ただし、八田荘公民館、福泉公民館、錦西公民館は日曜日のみ午前9時～午後5時） ◇休館日 月曜日、年末年始、国民の祝日に関する法律に規定する休日（その日が日曜日のときは開館し、翌月曜日及び火曜日を休館日とする。月曜日のときは、月曜日及び火曜日を休館日とする。）					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	公民館延べ利用人数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
			目標値	156,000	168,700	168,700	168,700
			実績値	135,002	135,285		
	達成率	87%	80%				
当該指標を選定した理由		自主的な生涯学習グループの継続的な活動を支援する公民館の利用者数の増加は、生涯学習の振興、住民相互の親睦、地域の活性化につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルス感染症の影響が出る前年（平成30年度）の実績値を設定。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	定期利用団体会員数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	2,100	2,100	2,100	
			実績値	1,661	1,652		
	達成率	79%	79%				
当該指標を選定した理由		定期的・継続的に活動を行う団体（文化教室）の会員数が増加することで、学習活動が活発に行われ利用者の増加につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルス感染症の影響が出る前年（平成30年度）の実績値を設定。					

令和8年度 事務事業評価シート (2)

事務事業名	公民館管理	事業番号	007-044
-------	-------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。

(単位：千円)

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度	
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
13	事業費 (a)	97,767	45,157	84,372	76,187	55,355	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	25,200	0	1,200
		その他 (光熱水費徴収金)	110	154	136	126	112
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	97,657	45,003	59,036	76,061	54,043
14	人件費 (b)	39,150	44,050	45,400	45,400	46,950	
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	136,917	89,207	129,772	121,587	102,305	

事業費の内訳

(单位:千元)

事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
	会計年度任用職員報酬	R7	決算	28,851	28,851	施設等修繕料・物品等修繕料	R7	決算	2,120	2,120
		R8	予算	30,406	30,406		R8	予算	2,057	2,057
	期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R7	決算	2,446	2,446	役務費（通信運搬費・手数料・保険料）	R7	決算	742	742
		R8	予算	2,605	2,605		R8	予算	811	811
	費用弁償（その他・通勤費）・普通旅費	R7	決算	626	626	施設改修工事関連（工事・工事監理業務・設計業務・印刷製本費）	R7	決算	25,919	25,919
		R8	予算	863	863		R8	予算	1,917	717
	消耗品費	R7	決算	743	743	委託料（公民館清掃業務ほか）	R7	決算	6,330	6,330
		R8	予算	300	300		R8	予算	7,337	7,337
	光熱水費（電気・水道・ガス使用料）	R7	決算	6,923	6,797	その他（印刷製本費、使用料及び賃借料、負担金）	R7	決算	1,487	1,487
R8		予算	7,224	7,112	R8		予算	1,835	1,835	

IV. 事業の効率性

単位当たり経費

17		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	①	公民館延べ利用者数	人	135,002	135,285
	②	上記①にかかる年間経費	千円	82,322	114,447
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	610	846
	算出についての説明等		②公民館施設管理運営に係る年経費（人件費含む）		

V. 評価

費用対効果に係る所見

18	新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少していた利用者数は令和4年度から回復傾向にあり、令和7年度も緩やかに増加したものの、コロナ禍を機に学習グループを解散した団体もあり、ホームページや公民館利用者の紹介により新たな利用を促すなど、デジタルとアナログの両面から新たな利用へつながる取組を行っている。利用者数は令和6年度と比較して300人程増加しているが、目標とするコロナ前の水準にはいまだ達していない状況であり、新たな利用者獲得につながる取組を行う。 なお、令和6年度と比べ年間経費が増加しているが、これは令和7年度に東百舌鳥公民館昇降機設備改修工事を実施したことによるもの。今後も、利用者の安全確保や適切な施設維持管理に必要な対応を行う。	
----	---	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

公民館はスポーツや文化的な活動のほか、手話やパソコン、外国人のための日本語教室や地域課題解決につながる活動など、校区や世代を超えて幅広い利用があり、市民の重要な学習拠点のひとつとして、また、地域交流の場として活用されている。

市民の自主的・継続的な学習活動の場を提供することで「堺市基本計画2030」で示す「生涯学習の推進」（重点3施策4⑥）や、「堺市SDGs未来都市計画」の取組「生涯を通じた学びの支援」（ターゲット4.7）のほか、地域の活性化、住民相互の親睦に寄与した。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	☒ 高い ☐ 低い	当該事業は生涯学習の場を提供する公民館の管理運営を行うもので、「堺市基本計画2030」で示す「生涯学習の推進（重点3施策4⑥）」や、「堺市SDGs未来都市計画」の取組「生涯を通じた学びの支援」（ターゲット4.7）に合致するものであり、その必要性は認められる。公民館における活動は多岐にわたり、多世代による地域交流の場としても機能していることから、個々の学びの場にとどまらず健康寿命の増進や地域課題の解決にも寄与しており、事業としての有効性も高いと判断する。
	有効性	☒ 高い ☐ 低い	